

上野益三 うの ますみ 生物學者、理學博士。明治二十二年（一九〇九）二月（一九一〇）大阪府豊中<sup>とよなかつ</sup>生れ、平成元年六月十七日歿（一九〇一八九）。大正十五年京都帝國大學理學部動物學科卒。大津臨湖實験所所長と經て、昭和二十八年京大教授。陸水生物研究に従事した他、日本に於ける生物學史の詳しく、この分野での第一人者。

著書に、『上高地及び水棲動物（附信州の魚類）』（宮地簿三郎共著、祥川水系の）水棲動物（附信州の魚類）』（宮地簿三郎共著、昭和十年、二月十日岩波書店）、『日本生物學の歴史』（昭和十四年六月十五日弘文堂書房「教養文庫」）、『日本博物學史』（昭和二十二年一月十日京都・星野書店）等。

